



北陸地方整備局入札監視委員会事務局
資料配付

配布日時

平成31年3月28日
配布をもって解禁

北陸地方整備局入札監視委員会第一部会第4回定例会議を開催しました
— 審議概要を公表します —

(※1)

(※2)

平成30年度北陸地方整備局入札監視委員会第一部会の第4回定例会議を平成31年3月11日に北陸地方整備局で開催しました。

入札契約の運用状況の報告・審議と平成30年度第3四半期発注工事等の中から委員会
が抽出した8件の事案に関し、競争参加資格の設定や競争入札に係る指名の理由・経緯等
について審議を行いました。審議の結果、委員会による意見の具申又は勧告はありませんで
した。

- ※1 入札及び契約の過程、契約内容の透明性を確保するため、平成6年度から設置された学識経験者
等で構成される第三者機関です。
- ※2 第一部会（港湾空港関係事務以外を担当）及び第二部会（港湾空港関係事務を担当）においてそ
れぞれ四半期毎に開催しています。

同時発表記者クラブ
管内各県記者クラブ

(問い合わせ先)

新潟市中央区美咲町1-1-1(〒950-8801)

電話025-280-8880(代表)

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp>

北陸地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 近藤 秀児 (会議の運営)

契約管理官 小幡 義則 (別紙「1 入札・契約手続きの運用状況」、「2 抽出事案
(役務の提供等及び物品の製造等)」)

技術開発調整官 山本 悟 (別紙「2 抽出事案(工事) (建設コンサルタント業務等)」)

北陸地方整備局入札監視委員会（第一部会第4回定例会議） 審議概要

| | | | | | | |
|---------------------|---|-----------------------------|--------------------|-----------|--------------|----------|
| 開催日 及び場所 | 平成31年3月11日（月） 北陸地方整備局（新潟市中央区美咲町1-1-1） | | | | | |
| 委員 (部会委員 5名) | 部会長 大川 秀雄（新潟工科大学 学長） 部会長代理 土屋 武（新潟大学 法学部 准教授） 委員 佐藤 綾子（富山国際大学 現代社会学部 准教授） 委員 平石 広佳（弁護士） 委員 細山田得三（長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻） | | | | | |
| 審議 対象期間 | 平成30年10月1日～平成30年12月31日 | | | | | |
| 報告事項 | 1 入札・契約手続の運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 平成29・30年度 有資格業者登録状況 | | | | | |
| 審議事項 | 2 抽出事案8件（工事5件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件） | | | | | |
| | 契約方式 | 件名 | 契約業者名 | 契約年月日 | 契約金額 (千円) | 入札 者数 |
| 工 事 | 一般競争入札方式（政府 調達に関する協定適用対 象工事以外） | 長岡消流雪導入施設操作制御設備 修繕工事 | (株)日立製作所 | H30.10.5 | 48,600 | 1 |
| | | 平成30年度宇奈月ダム放流設備 修繕外1件工事 | 佐藤鉄工(株) | H30.10.11 | 55,080 | 1 |
| | | 箆川橋仮設橋設置工事 | (株)相模組 | H30.12.28 | 237,600 | 3 |
| | 工事希望型競争入札方式 以外の指名競争入札方式 | 神通川・葛原護岸災害復旧ブロッ ク製作工事 | 桜井建設(株) | H30.11.14 | 113,862 | 13 |
| | 随意契約方式 | 野生トキ観察施設（H30）新築工事 | 遠藤建設・中野建設工 業(共) | H30.11.28 | 109,620 | - |
| 建設コンサル tant業務等 | 簡易公募型プロポーザル 方式 | 平成30年度レーダ雨量計粒子判 別モデル検討業務 | (一財)日本気象協会 | H30.10.30 | 50,058 | - |
| | | 平成30年度河道計画等検討業務 | (株)建設技術研究所 | H30.11.1 | 44,993 | - |
| 役務の提供等及 び物品の製造等 | 一般競争入札方式 | 上越市東町土壌汚染状況調査 | (株)村尾技建 | H30.10.12 | 1,058 | 3 |
| 委員からの意見質問、それに対する回答等 | | | 別紙のとおり | | | |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容 | | | 特になし | | | |
| (備 考) | | | | | | |

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等(第一部会第4回定例会議)

| 意見・質問 | 回 答 |
|---|---|
| <p>1 入札・契約手続きの運用状況について</p> <p>(1) 入札方式別発注工事一覧及び入札方式別発注建設コンサルタント業務等一覧並びに入札方式別発注役務及び物品の製造等業務一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役務の提供の随意契約方式の中に、著作者人格権行使に基づくものがありますが、これは契約の相手方が有している権利の行使によるものでしょうか。 ・工事規模が比較的大きいものでも、1者応札がありますが、特に問題はないのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。 ・一般競争の場合は、1者応札だからということで、入札手続きを止めるということは、ございません。 |
| <p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 | |
| <p>(3) 談合情報等の対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 | |
| <p>(4) 再度入札における一位不動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 | |
| <p>(5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況(平成27年度～29年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札調査の範囲になるのは、予定価格の7割～9割ということですか。 ・同じ低入調査でも、2段階の調査があるのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格の7割～9割の範囲内で、基準の計算式により、契約毎に調査基準価格を算出し、それを下回った場合に低入調査の対象となります。 ・通常の基準よりさらに低い基準を設けており、それを下回るようでしたら、より重点的に調査をすることになります。 |
| <p>(6) 平成 29・30 年度有資格業者登録状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 | |

| 意見・質問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>2 抽出事案の審議について (工 事) 1 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外)</p> <p>「長岡消流雪導入施設操作制御設備修繕工事」 ・特になし。</p> | |
| <p>「平成30年度宇奈月ダム放流設備修繕外1件工事」 ・体系図の見方について、教えていただきたいのですが、この1次、2次というのは、下請けとか孫請けということになるのでしょうか。下請けとか孫請けするに当たって、何か縛りがあるのか教えていただきたい。</p> | <p>・一般的には下請け・孫請けと言われています。 また、工事の全部若しくはその主たる部分等を下請けに出してはいけないことになっています。工事の一部で、足場工とか専門的な部分を下請けに出しているのが、通常多いと思っております。</p> |
| <p>「籠川橋仮設橋設置工事」 ・特になし。</p> | |
| <p>2 指名競争入札方式 (工事希望型競争入札方式以外の指名競争入札方式)</p> <p>「神通川・葛原護岸災害復旧ブロック製作工事」 ・1者が国の実績がないということで、今回選定されなかったということですが、一番最初の実績はどのように作ればいいのか教えていただきたい。</p> | <p>・本件は指名競争ということで、そのような選定基準となっていますが、通常一般競争の手続きであれば国の実績がなくても同種工事の実績があれば、評価は低くなりますが参加できることになります。</p> |
| <p>3 随意契約方式</p> <p>「野生トキ観察施設(H30)新築工事」 ・1点目は、2回目3回目という過程で、どのように見直したのかと、2点目が、最後に決まった業者は、第1回～第3回までに応募した業者とは、違うのでしょうか。</p> | <p>・1点目について、1回目から2回目への手続きと2回目から3回目の手続きにつきましては、具体的には、外構工事であれば、その舗装内容の範囲を変えとか、一部、木製品ということで、木材を使う施設ですが、やはりその範囲を変えるですとか、工事内容を変えて手続きを進めています。 2点目について、1回目は、違う会社でございました。</p> |

| 意見・質問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>(建設コンサルタント業務等)</p> <p>1 簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>「平成30年度レーダ雨量計粒子判別モデル検討業務」</p> <p>・業務内容が、かなり先端的な研究的な内容になっていて、これを受けられる業者さんは少ないと思われそうですが、21者が受けられるという判断なんですけど、これについてはいかがでしょうか。</p> <p>・業務として非常に見積もりにくいと思うのですが、いかがでしょうか。</p> | <p>・高度な技術を要する業務でございますが、同種・類似につきましては、レーダ雨量計による雨量観測に関する業務や、レーダに関して降雨解析を行った業務等の業務に関連していれば、この業務は遂行できるということで、調べた結果21者が資格要件を満たしたということでございます。</p> <p>・入札説明書で、観測内容、合成手法の検討等の項目を公表します。合わせて、入札説明書では概略の予定金額を付して募集をするということで、この内容とこの金額だったらできる者が提案をするというような流れになります。</p> |
| <p>「平成30年度河道計画等検討業務」</p> <p>・計画の概要に「最新の技術を用い」という言葉があり、業者さんはどのように受け取るのかと思うのですが、どのようにお考えでしょうか。</p> | <p>・色々と水量計算の仕方がある中で、我々の方で考えておりましたのは、近年大規模な洪水に対しまして、河道内貯留とか河道内を器として評価するような考え方とか、そういった視点からも何か上下流バランスに寄与するような検討方法はないのかという視点を考えておりました。</p> |
| <p>(役務の提供等及び物品の製造等)</p> <p>1 一般競争入札方式</p> <p>「上越市東町土壌汚染状況調査」</p> <p>・落札率が低いようですが、特に問題ないのでしょうか。</p> | <p>・入札金額の内訳を求めているので、詳細はわかりませんが、一般管理費、会社経費等を低く設定したものと、推察しております。</p> <p>競争参加資格のその他の要件で、「土壌汚染対策法に基づく指定調査機関であることを証明した者であること」を付しております。これは財務省理財局が設定している要件で、この作業に関しましても、実際所要の品質が確保されると考えております。</p> |